

5 . GISTの分子メカニズムと分子標的治療

5-2 . 治療法の選択

POINT

GISTに対する治療法の第一選択はイマチニブ登場後も外科的完全切除である。完全切除を期待できない場合、あるいは再発症例にイマチニブを用いる。非根治症例でも穿孔・出血・破裂など合併症の危険が存在する場合は積極的な外科切除が推奨される。

GISTに対する治療法の第一選択はイマチニブ登場後も外科的完全切除である。完全切除を期待できないとき、イマチニブをneoadjuvantないしadjuvantとして用いることができる。非根治術になると判断された場合であっても、また再発症例でイマチニブ使用中であっても、穿孔・出血・破裂など合併症の危険が存在する場合は積極的な外科切除の適応となる。

逆に、切除不能ないし完全切除不能と診断されイマチニブの治療を受け反応があり切除可能となった場合、切除を行うかどうか、明確な解答はない。ただ、イマチニブ単独ではCR症例がないことを考慮すると、患者の状態が許せば積極的な外科治療の併用が考慮される。

今後、進行GISTや再発GISTの治療は、イマチニブと外科切除をそれぞれの長所を組み合わせる必要がある。